

第 2 期子どもクリエイター 1 年間の活動記録。

子どもたちが大阪市の地域情報誌『うっところ vol.2』制作中！

2024 年 1 月から 7 月まで毎月 1 回活動し 9 月に 1 冊の雑誌を出版します。

子ども地域情報誌プロジェクトは大阪市の子どもクリエイターたちが、地元を取材し地元の魅力を作る非営利活動です。子どもたちがプロのクリエイターから学びながら、子どもたちの力で地元を取材し、撮影し、記事を書き、編集し地域情報誌（2 号は東住吉区/平野区版）を出版します。キッズライターは文章で表現！キッズカメラマンは写真で表現！キッズイラストレーターは絵で表現！東住吉区を取材して発見したわくわくを、自分たちの力で地域情報誌で『伝える』にチャレンジしています。子どもの好奇心と大人の本気が地域を繋ぎ、子どもたち自身の未来そして地域や人やお店にスポットライトを当て、創造力の育みと地域資源の活用を目指しています。

2024 年 1 月 13 日（土）アイスブレイク&ディレクター・デザイナー講座、編集ワークショップ

大反響を巻き起こした子ども地域情報誌うっところ創刊の熱も冷めないまま、第 2 期がスタートしました。「いっちょおもしろい事をやろう！」をテーマに新しいキッズクリエイターも加わり、引き続き子どもたちで大阪市を盛り上げます。第 2 号は大阪市東住吉区と平野区を取材して発見したわくわくを、自分たちの力で地域情報誌として全国へ伝えていきます。

まずはアイスブレイクゲーム。今日初めて会う子らも多いのでオリジナルのゲームをしました。子どもたちの元気とテンションは一気にトップギア！うねるように大爆笑で大盛り上がり。子どもたちそれぞれの魅力とおもしろさを発見しましたので、バッチリ団結して今回もまたおもしろい雑誌が完成すると確信しました。その勢いのままディレクター（宮本司さん/スターファクトリー）講座とデザイナー（寺嶋梨紗さん/スターファクトリー）講座に突入です。静と動を切り替える子どもたちすごい！

デザイナー講座では 1 冊の雑誌が出来るまでの過程や、そこに多くのクリエイターが携わりそれぞれ役割や制作内容も違うお話に、子どもたちも興味津々でメモしたり質問したり積極的。デザインの仕事内容も教わり、特に子どもたちが取材し編集した『うっところ vol.01』のラフが、どうデザイン補強されて行ったかの過程も学び、子どもたちも大きな発見があった様子でした。

ディレクター講座では『編集』について学びました。「編集は司令塔！0 から 1 を創り、そのアイデアが雑誌の方向性を決めていく重要なお仕事！」様々な編集の違いによって雰囲気が変わる例を見せてもらい、実際に編集体験のワークショップ！

今回は好きな雑誌のページを模写しその良いポイントを 3 つ想像します。インプットとアウトプットの逆再生をする事で編集力のコツを自分なりに発見していく、とてもクリエイティブな講座を受けました。





2024年2月10日（土）街の魅力探し&インタビュー・アート・カメラ講座 3 連発でパワーアップ！

子どもたちはたくさんの体験を通して感じ学びながら、日に日に『子ども記者』としてパワーアップしています。いろんなタイプの子がいるからこそ、みんな違うからこそ、想像を超えたおもしろい物が出来る！本日はチームに分かれ、子どもたちが調べて来た東住吉区と平野区の魅力をブレインストーミングと KJ 法で共有します。「このレストランは映えスポット！」「いろんな国の料理屋さんも行ってみたい」「へ～そんなゲーム屋さんあったん？」普段生活している地元でもまだまだ知らない魅力がたくさん！チームでアイデアを膨らませ、それぞれのチームの特色をプレゼンしました。

お昼ご飯を食べたあとはプロの講座 3 連発と盛りだくさん。まずはライター（宮崎真歩さん/スターファクトリー）より『取材インタビューの仕方』を学びます。取材で大切なポイント、そして今年初公開のマル秘プロのインタビューテクニックを伝授してもらい、実際にインタビュー体験もしてみました。子どもならではの目線と感性で話を自然と膨らませていける子どもたち、すごい！

続いてはアート講座（口池晴子さん）ちぎり絵アートワークショップです。多種多様な紙をちぎって切って貼り付けてと、生き物に変化させていきます。「そういう表現があったか！」大人はいつも子どもたちに完敗です！子どもたち自らの持つ発想力や想像力をどう自分の表現に変えるか、その楽しさを発見し、今回の雑誌の中でも発揮して欲しいと願っています。

最後はカメラマン（説田浩之さん）より『写真の撮り方』を学びます。「細かな事は気にせず思いっきり撮ってみよう！」公園に移動してとにかく楽しく撮影会！一眼レフを抱え子どもたちも走り回ります。ポーズをとる子に景色を撮る子。落ちていた木の実をいらずで誰かに投げる子、それを「証拠写真撮ったで！」と撮影する子笑。少々バイントが合っていないくても、見せようと思う気持ちがあれば伝わります。難しい事は気にせずに撮りたい時にシャッターを「押せるか」を、遊びながら自然と経験しました。どの講座でも共通していますが、表現する為には“これ！”といった正解や確実なテクニックはありません。大切なのは『自分で考える』『自分で工夫してみる』『正解は自分で決める』これを胸に抱いて 3 月はいよいよ取材に向かいます。がんばってチャレンジしましょう！





2024年3月9日（土）わくわくどきどき今期取材スタート！大阪市の魅力をしっかり伝えていきます。

さあいよいよ今期取材スタート！東住吉区＆平野区の魅力を伝えるべく子ども記者出動！

『大阪市東部中央卸売市場』さん、『新聞屋さん博物館』さん、『全興寺』さん、『へつつい・ライター博物館』さん、『ふくろう博物館』さんがこの教育プロジェクトにご協力して下さいました。

1期の子ども記者は経験を生かして、2期の子ども記者は初めてでドキドキの取材チャレンジ！

特に2期の子ども記者は、「どうやったら良いんやろ？」「上手くできるかな…」想像できない自分の姿に不安もありましたが、これまでの活動の中で、みるみる表情がたくましくなっていき自覚が芽生える姿を感じていましたので、当日の取材でもそんな心配は吹っ飛んで、今まで講座で学んだことを生かして大活躍でした！

子どもたちたくさん考え想像し、インタビュー苦手な子は勇気をしばって質問し、使命感を持って向き合えた大成功の取材となりました。東部市場での-50℃の冷蔵庫体験や水産や青果のプロの方との関り、平野区街ぐるみ博物館での冒険など、今日の体験を通して自分で感じた事を読者に伝えていきましょう！

取材が終われば今期最後となるプロ講座です。

ライター（宮崎真歩さん/スターファクトリー）より『記事の書き方・キャッチコピー』講座です。今日の取材のネタを使って記事をパズルのように組み合わせる方法、リズムカルな文書の作り方などなど、さっきまでの取材のアクティブとは打って変わって真剣モード！キャッチコピー作り合戦では大盛り上がりの講座となりました。

これで7つのプロ講座は修了！みんな普通の小学生からキッズクリエイターになったはず？！記事作りに向け前進していきます。





2024年4月6日（土）前阪神監督、矢野燿大さんが教育プロジェクトにご協力くださいました。

今日は特別取材にて、子ども記者9名（題してうっとこサイン）にて西宮に伺いました。

インタビューさせて頂くのは、平野区が誇る自慢の人！前阪神タイガース監督の矢野燿大さんです。「子どもたちが喜ぶならによりです」と子ども地域情報誌うっとこのインタビューを快く受けてくださいました。少々トリッキーな質問も多々あったと思いますが、子どもたちにとても真摯に向き合ってくださいました。

子ども記者達は自然な会話の中から、「平野区での思い出場所はありますか？」「小学校時代はどんな子どもでしたか？」と幼少期のエピソードや、「バッテリーボックスに立った時の気持ち」「チームをまとめていく決意」、そして「子どもたちに1番伝えたいメッセージはなんですか？」など、とても熱い想いも聞き出すこともできました。

去年の影山ヒロノブさんも同じく、『一流に触れる経験』は、大人になってからも貴重な糧になるはずです！



2024 年 4 月 13 日（土）取材も盛り上がっています！取材を通して貴重な体験と経験を。

今月もたくさんの場所に取材に行きました。

食べきれないぐらいたくさんの料理をご用意してくださったり、特別公開や特別体験をさせてくださったり、お土産までご用意してくださったりと、取材先の方々も「子どもたちの教育のために」とご協力くださいました。子どもたちも大興奮の 1 日で、子ども記者として自分の役割を試行錯誤しながら務めました。

そのテンションのまま、早速雑誌の記事作りにも取り組んでいます！子どもたちの感性が詰まった、そして東住吉区/平野区の魅力を伝える 1 冊に致します。

『AASHIKA』さん、『サクハナらんどせる』さん、『ヤンマーマルシェ NAGAI』さん、『長居ユースホステル』さん、『大念佛寺』さん、『かたな博物館』さんが教育プロジェクトにご協力して下さいました。





2024 年 5 月 11 日（土）取材も大詰め。子どもたち自分たちの持つ力を超えようとしています。

今月は『タコスハウス Estrella』さん、『ウドンタニ』さん、『かんさんキムチ』さん、『ティンアン』さん、『cafe hakurin』さんが教育プロジェクトにご協力して下さいました。これまで子どもたちは、たくさん見て聞いて学んで味わって体験してと、まさに五感で、なかなか経験できない事を吸収してきました。この経験値を、次はいよいよ雑誌制作にぶつけて行きましょう！雑誌を読んでくれる人を想像しながら、その店その人その街の魅力を自分たちで発信していきます。

私は子どもたちに「みんなを子どもと思ってない」とよく言いますが、今回のプロジェクトをひとつのきっかけにし、子どもたちの内発性を育みたいと考えています。自分たちの取材はただ楽しい遠足でもなく、大人がすべて準備し大人の後ろをなんとなくついて行けば何か与えられるという物ではありません。自分たちでクリエイティブに行動し、「うまく行った」も「うまく行かなかった」も自分で発見する喜びを経験させてあげたい。子ども記者として当事者意は、自分でも気づかぬうちに芽生えています。





2024年5月13日（月）特別企画！うっとこ×ヤンマルシェ NAGAI 子ども記者でメニュー開発！

今年のうっとこの特別企画では、ヤンマルシェ NAGAI さんとうっとこ子ども記者がコラボレーションして、レストランのメニューを開発します！ヤンマルシェ NAGAI さんは、昨年の創刊号でも取材のご協力を頂きましたが、大反響だったとの事で「是非今年2号にも載せてください！」と、とても光栄な逆オファーを頂きました。

その中で「なにか一緒に地域やお客様の為に出来る事はないか？」また「子どもたちにとって体験学習になり、未知の可能性を応援し、子どもたちの未来をみんなでワクワクできるものに変えていく事は出来ないか？」と、メニュー開発に至りました。

そして今日は1回目の作戦会議。大人でもなかなか出来ないような、アイデアの擦り合わせ会議を楽しそうにこなす子どもたち！

1枚1枚のデザイン画から発想を飛ばし、大盛り上がりの中、商品が生まれていく過程を経験しました。

会議は4回行いますが、次回は候補からアイデアを組み合わせたり磨きをかけたりし形にしてきます。





2024 年 5 月 25 日（土）特別取材！NHK 連ドラ『ブギウギ』俳優の澤井梨丘さんインタビュー

今日は特別取材！東住吉区の星、NHK 朝ドラ『ブギウギ』福来スズ子の幼少期役を演じました、俳優の澤井梨丘さんインタビューです。これまでたくさんの取材をしてきた子ども記者たちですが、初めて同世代の子にインタビューするという事でめちゃ緊張！（特に男子の照れまくり）な様子でしたが、少しアイスブレイクのゲームをして仲良くなり、インタビューもフリートークで質問を繋げたり、話を膨らませたり工夫する姿があり、盛り上がっていました。

澤井さんは素敵ながらいの愛嬌と豊かな感性と芯の強さを持っていて、自分の好きな事に向き合う気持ちや、お仕事に対するプロ意識に、子ども記者も私もとても感銘を受けました。そしてありのままの天真爛漫さに、周りをパッと明るくさせる！そんな時間でした。子ども記者達は、また1つ“プロに触れる”経験をし、“自分をどう表現するか”そんな学びの種も受け取った1日でした。これらか魅力を伝える記事作りがんばります！



2024 年 6 月 8 日（土）子ども記者編集大作戦！完成まであと一歩。最後の取材はピザ作り体験！

このメンバーでの活動もラスト2回となりました。今月は子ども記者編集大作戦！キャッチコピー、レタリングデザイン、イラストと、子どもたち頭から煙が出来るぐらいがんばりました！『やる時間』『遊ぶ時間』『またやる時間』と、自分で時間を組み立て、役割を見つけていく姿に頼もしさを感じます。

文章が苦手な子は得意なイラストで活躍したり、イラストが苦手でもデザインが得意だったり、苦手な事でもチャレンジして見たり、子どもたちはみな自分の得意を見つめ、読者を想像して紙面をさらに華やかにしていきました。完成まであと一歩！

最後の取材では北田辺にある『Pizzeria Leonardo & ぼんのみみ』さんが教育プロジェクトにご協力くださいました。ピザ作り体験もさせていただきましたよ！生地をこねる・ソースをぬる・トッピングする。厨房すべての行程を体験させてもらった子どもたちはドキドキ、店長さんらのツッコミをうけながらも大爆笑の取材となりました。

1月から振り返ってみると、今期も子どもたちの成長を感じます。創造力と言うありきたりなものだけではなく、なぜこんなに成長をもたらしたのか、ずっと観察して考えて行き着いた答えが、子どもたちは地域情報誌と言う1つの『メディア』を作っていて、地域と読者の中間に居て『社会的な繋がりを自分たちが担っている意識』だと感じています。

完成した雑誌が全国に届き、例えば悩みを抱える子どもたちが見た時、「子どもでもすごいことが出来る！」「僕も何か出来るかもしれない」と希望や勇気を与える事だって起こります。自分たちの作った物が誰かに何か影響を与える、そんな体験や意識を持つ経験が、子どもたちに大きな成長をもたらしたのだと観察していました。

子どもたちが作る地域情報誌が1つの媒体となり、地域を超えて日本の子どもたちすべての未来を繋げる。そんな1冊になるはずですよ。さあ、来月7月で完成です！あとひと踏ん張り頑張りましょう！



2024 年 6 月 10 日（月）子ども記者メニュー開発会議②in ヤンマーマルシェ NAGAI

今年のうっとこの特別企画では、ヤンマーマルシェ NAGAI さんとうっとこ子ども記者がコラボレーションして、レストランのメニューを開発します！今日は2回目の会議にて、前回子どもたちがプレゼンしたデザートデザインの中から、シェフが試作した5点のデザートを試食です。自分の描いたデザートアイデアが形になっていく過程に、「俺らホンマすごい事やってる気がする！！」子どもたちは胸をときめかせています。

「ここはサクサク感が欲しい」「サツマイモ入れてみては？」「アズキはこのままが良いと思う！」など、改良点を共有し、この中から3点を商品化へ向けて決定しました。次回の会議でメニュー内容やメニュービジュアル確定させていきます。



2024 年 7 月 1 日（月）子ども記者メニュー開発会議③in ヤンマーマルシェ NAGAI

今年のうっとこの特別企画では、ヤンマーマルシェ NAGAI さんとうっとこ子ども記者がコラボレーションして、レストランのメニューを開発します！今日は3回目の会議＆最後の試食会。

前回の試作品に改善点やアイデアを加えて、子ども記者 19 名全員のエッセンスを加えたデザートが完成しようとしています！

「こっちの方が良いかな、あっちの方が良いかな」食べる人や販売する季節を想像したり、時に意見が分かれたり。産みの苦しみでさえも楽しんでいる子ども記者たちでした。

次週でこのプロジェクトも最後の会議。いよいよデザートが完成！そしてメニュー名を考えたり、販売促進のビジュアルを考えたりと、大人顔負けのミッションは続きます。



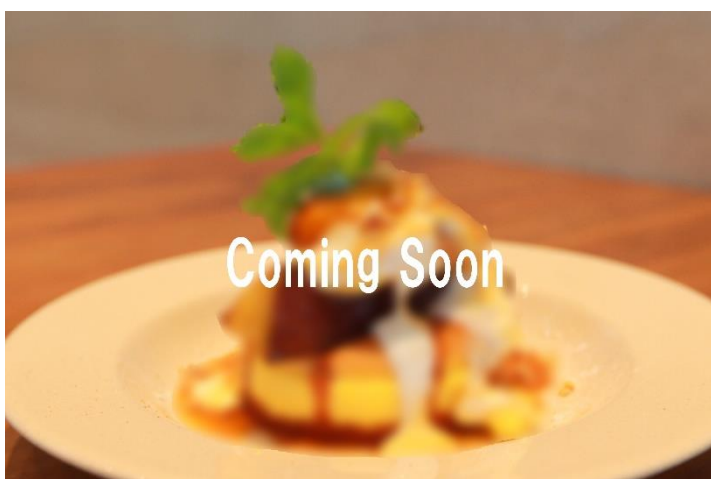
2024 年 7 月 8 日（月）子ども記者メニュー開発会議④僕たちで考案したデザート完成！

今年のうっとこの特別企画では、ヤンマーマルシェ NAGAI さんとうっこ子ども記者がコラボレーションして、レストランのメニューを開発します！本日は4回目最後の会議です。約3か月間会議を重ね、子ども記者たちと、ヤンマーマルシェ NAGAI の方々と、株式会社エル・スエヒロフードサービスのシェフの方々とで、3つのデザートが完成しました。

9月出版の『うっこ vol.02』に掲載し、10月から期間限定でヤンマーマルシェ NAGAI に登場します！新感覚のクリエイティブなデザーに会える3か月間。是非楽しみに！

子どもたちも自分たちのアイデアが商品として形になっていく過程を体験し、大人になっても忘れない出来事になったはずです。子どもたちの為にとご協力くださった関係者のみなさん、本当にありがとうございました！

本日メニュー名決定と宣材写真撮影。この先は販促を考えたりと、あと少しミッションは続きます。



2024年7月13日（土）第2期修了！自分の才能や個性を見つけ輝かせた子どもたちの7か月間

自分の才能や個性を見つけ輝かせた子どもたちの7か月間。1月からスタートした第2期子ども記者の活動も7月13日無事修了しました。子ども記者活動は、楽しい時や達成感を感じる時だけでなく、頑張らないといけない時、出来なくてもやり抜く時、難しい時や投げ出したい時もあったと思います。

そんな様々な時間を胸に刻みながら自分と向き合いチャレンジし続けてきた7か月間。今日1つの形になりました！この2期のチームだからこそできた1冊が完成しました。

今日最後の活動は編集デザイン大作戦♪どこが1番伝えたい部分か、どうすればより読者がイメージしやすい表現になるか、キャプションや原稿補強、イラストにデザイン。

たくさんあるタスクを「目標の時間までに終わらせよう！」と計画的に使命感を持って、そして変わらず賑やかに！見事やり遂げ雑誌完成しました。「この子たちは本当にすごい！」あれこれ文字に表したとしても、この言葉以上は出てこない、そんな感想です。最後一人ひとりの感想発表を聞いては、泣きそうになるのをグッと堪えて。

そして最後はお楽しみのピザパーティー！

これまで一緒にたくさんの体験をし遊び食事してきたこのメンバーで最後のお楽しみの時間です。遊んで食べてまた遊んでとパーティーピーポーで終了しました！

今から我々大人クリエイターチームでデザインの微調整&補強し入稿します。そして9月14日このvol.02出版。

大阪市東住吉区で完成発表会をしますので、皆様引き続きよろしくお願いいたします。

子どもたちもその日初めて完成した地域情報誌を手に入れます！



ついに、うっこと vol.02 出版となりました！1 月から子どもたちが自分の力で街を取材し原稿を書き、デザインや編集をし完成させた大阪市の地域情報誌うっこと。9 月 14 日完成発表会では区長はじめ取材先の方、地域の方、保護者やご支援頂いた方、俳優の澤井梨丘さんなど総勢 70 名が駆けつけてくださり、子どもたちの活動の過程を共有し笑い泣き。

今年も始まる前に子どもたち&保護者で修了式を行いました。この 9 か月間読む人を想像しながら、どうしたら面白くなるか魅力が伝わるかを考え想像し行動してきた子どもたち。そんな 19 人を見ていると涙腺が。泣くのを我慢して何とか修了証を渡しました。そしてこの日初めて完成した雑誌を手にする子どもたち！感無量の様子でした。

自己紹介では緊張しながらもがんばって伝える子、アドリブを入れて会場の笑いを誘う子、「私を泣かせる宣言」をする子も笑。活動のプレゼンでは 1 月から 9 月までの活動の過程を、自分の言葉でしっかりやり遂げました。続いては取材を受けてくださった方から感想のお言葉。「なんとこの方がお越しくださっています。後ろの扉をご覧ください」六甲おろしが流れる中「まさか！？ほんま？矢野燿大さん？来てたら気絶する～」とざわざわ。と言うのはドッキリですが、実はサプライズ！！矢野燿大さんからビデオレターを頂いており上映しました。子どもたちも大喜びで、改めて取材でお会いした日の事を思い出していました。

最後は一人ひとり感想をスピーチが会場の涙を誘います。話すのが苦手な子は自分の心の中にはちゃんと自分の言葉があるし、おちゃらける子はその中に気持ちが恐縮されてるし、上手く伝えられる子は自分の素直な表現ですし。どんな形でも自分の言葉と表現が最高です！

楽しい日ばかりではなく、難しい事や投げ出したい事、それでもやりぬかなくてはならない事もたくさんありました。自分たちの持つ、もしかしたら自分でも気づかない個性や才能を自ら乗り越え行った 9 か月。19 人 19 色、まさにみんな違ってみんな良い最高のパフォーマンスで 1 冊の地域情報を完成させました。





2024年9月28日（土）子どもたちで取材先にうっここを届けたよ！

子ども記者の中から有志で取材先にお届けしてきました。その他の取材先はすでにお届け完了！子どもたちの活動にご共感頂ける小中学校では全児童生徒に配布してくださっています。

みなさんとても喜んでくださり、特に東部市場では取材でお世話になった方のお孫さんの学校で配られたそうで「いいじ載ってたで！」と言われて嬉しかったとお聞きしました。

子どもたち配付ツアーがんばったので、ヤンマーマルシェ NAGAI でご褒美タイム♪1年間チームとして団結した仲間最後の食事です。そして暑いのに鬼ごっこで走り回っていました笑
来られなかったメンバーや他の子どもたちの分まで、最後までしっかり子ども記者を務めあげました！



2024 年 1 0 月 8 日（火）東住吉区役所と藤原区長に届けたよ！2 期活動修了！

今年 1 月から活動してきたプロジェクトも、本日第 2 期子ども記者最後のお仕事です。

東住吉区藤原区長に表敬訪問、雑誌も届けました。

なかなか入れない区長室で緊張気味でしたが、名刺も頂いてワクワク。子ども地域情報誌うっとこ vol.02 は東住吉区役所でも入手することができます。たくさんの人が手に取ってくれて、また改めて地元を見つめるきっかけになれば嬉しいです。

第 2 期子ども記者お疲れさまでした！2025 年第 3 期の子ども記者も楽しい 1 年にしましょう！



子ども地域情報誌プロジェクト大阪市南部版について

【子ども地域情報誌うっとこ事務局】

所在地：大阪市東住吉区杭全 7-8-31 YOSIN 学院内

代表：砂子賢太郎

電話番号：06-7162-1676

メールアドレス：yosin-gakuin@jcom.zaq.ne.jp

HP：https://yosin.sakura.ne.jp/colomaga.html

※後援：大阪市、大阪市教育委員会。

※子ども地域情報誌プロジェクト『うっとこ』は、
子どもたちの創造力とシビックプライドの育成、大阪市の地域活性と
シティープロモーションを目指しています。

